

オートデスクと日進 金属が最新動向解説

CIM解決研が勉強会

CIM解決研究会（齋藤孝一代表理事）は、東京都千代田区のニューオータニガーデンコート紀尾井フォーラムで第47回勉強会を開いた。写真。ゲスト講師の講演をオートデスクと日進金属が務め、研究会から現場の3次元化事例などを報告した。



講演では、オートデスクの井上修氏が「BIM/CIM

の本格化に向けて オートデスクソリューションの最新動向と今後の開発方針について」をテーマに、同社の『InfraWorks』『Navisworks』を活用した3次元モデルによる現場の見える化などを説明した。

日進金属の浅香浩樹氏は「IoT分会・国土交通省での活動」と題して、革新的河川技術プロジェクトにおける河川の監視カメラ開発の動向や課題、現場監視システム『NEXCAM』の特徴について解説した。

現場の3次元化事例では、同研究会の富士幹雄氏がマッププューティリティを活用した写真管理の実例などを報告した。

次回の第48回勉強会は17日に紀尾井フォーラムで開催する予定だ。

